

# 「影響を受けない！！」

～あなたの隠れた姿があなたを脅かす～

ピリピ1：21-30

## 私達の裏側に隠れている感情的な行動…

私たちは置かれた環境で正しい答えを見出す力を持っています。けれど、その一方でどうしようもなくなった状況で自分の正しい判断がまったく逃げてしまい、感情だけがワッと出てしまうことがあります。私達にとって恐ろしいことは、キリストの福音にふさわしく歩みたいと願っているが、その願いと反対のことが自分の内に起こってしまうということです。そして、できないこと、行えないことがだんだんと自責になってゆきます。責めを持って持つほど私達のその姿は隠されていきます。普段押し込めて押し込めて、そして心の中に閉ざしてしまっているので、判断ができなくなってしまった時にドサツと出てきてしまうのです。先週のメッセージで語られましたが、本心と現実の違い、希望を求めているのにそうならない現実がギャップでした。けれど、聖書はこのギャップ、つまり二つの心をついにしなさいと語っているのです。これは自分の心を殺せと言っているではありません。

## 影響を受けないために…

### 1. リーダーの自覚

あなたが家族や友人、職場、地域… etc と関わっているとすればあなたはリーダーです。あなたは神様がその人達に与えた生きる力です。その中にはあなたに対して悪い行動、悲しみを与える行動、がっかりさせるような行動をとるかもしれません。けれど、あなたは被害者ではありません。神様は、そんなことしかできない状況の中に置かれている弱さにある人達にとってあなたをリーダーとして遣わされているのです。現在のリーダーの姿の模範はイエス様の姿です。現在のリーダー像として次の3つの資質が挙げられるそうです。その1「華がある」…その人がいたらフワッとあたたかくなる。疲れていてもその人がいるとやる気が出る。その2「器の大きさ」…神様は間違いなくあなたを大きな器として造られました。けれど、これまで周りの人に責められ、傷つけられ、自分はどうせ駄目なんだと思った結果、暗闇の中で黒く塗られてしまった部分が見えなくなって小さいと思っただけです。その3「怨(じよ)」…「その身になって他人の気持ちを思いやること。また、他人の立場にあってゆるすこと。」という意味です。これら3つのリーダーの資質、これはイエス・キリストの教えの中心だと気づきませんか？赦すことは愛することは、愛することとは赦すこと。神様に向いて生きる人は光り、花を咲かせ、その実大な大きなふさわしい力の人々を正しく導くという信仰の概念です。すなわち、キリストチャン＝リーダーであり、キリストチャンとして生きる人はリーダーの資質を持っているということです。

私達は「小さい」と思った時にもうすでにリーダーの役割を放棄しているのです。そして、周りの言葉に影響を受けてしまうのです。器が小さい(と思っただけ)で、透き通った水の中に墨を一滴垂らされただけで真っ黒だと感じてしまいます。それではキリストチャンになった意味がありません。自分の弱さに、また周りから言われる言葉や態度に影響を受け、「自分はこう生きよう！」という決断を忘

れてしまうのです。その最大の要素が「比較」です。これがリーダーというあなたの役割を放棄する最初の入り口なのです。

1テモテ3：1-13には執事(仕える人)の姿が書かれています。読んでいくとその難しさを感じるでしょう。けれど、神様はこうでないといけないと言われているのではありません。こうあるよという努力しなさいと言っているのです。できない自分の弱さを認め、向き合っていくことが大切なのです。

### 2. キリストチャンにふさわしい生活

キリストにあってふさわしい生活を送るということの中心はイエス様がどんなお方であるかを知ることです。それがわからなければイエス様にある生活は送れません。わからないと自分流になります。自分流のキリストチャンは人を裁きます。けれど、イエス様がどういう人であったかを知ると自分流の裁きの心はだんだん退いていきます。そして、とうとう自分のことも裁かなくなります。イエス様が赦してくださった自分だから愛せるようになるからです。そして、「反対者たち」(ピリピ1:28)、つまり弱い人達に驚かされることなくするのです。周りの目を恐れ影響を受けていた私達が、影響を与えないようにします。普通の人が泣くことで喜び、普通の人が嘆く時に信仰的に戦おうとするからです。でも、これはできるからやっているのではなく、教会に行き、痛みを置いて神様に委ね、他の人の痛みを見るとその人のために頑張ろうと思っただけなのです。

### 3. あなたの夢を具体的に！！二人の自分(二心)から解放される

私達はやってはならない自分、悪い自分と一緒に共存しています。(これは二重人格という意味ではありません。私達の内には一人の人格しか入れません。)その姿に気づいた時に自分を責めるのではなく、弱さがあることを神様の前に認めることが二心でなくなる秘訣です。そうすれば、神様はその弱さをイエス様の十字架によって消してください。そして、間違った態度を取らせる自分と戦う力を与えてくださるのです。そして、イエス様に向いて生きる時、だんだんとイエス様のような姿に変わっていくのです。

### 祈りましょう…

あなたの置かれている環境、立場で影響を受けないようにしましょう。嫌な人、腹の立つ人がいるかもしれません。でも、あなたはその人に良い影響を与えるためにいるのです。このように祈りましょう。「神様、私にはこんな弱さがあります。こう言われるとこう言ってしまう弱さがあります。こう言われるとこういった態度を取ってしまう弱さがあります。でも、私は負けません！戦います！そして、最後にイエス様のようになります！」

(要約者：全本 みどり)